



佐賀市立諸富中学校 学校だより

第1号

令和7年4月8日発行

文責 校長 下川登志雄

わか あし
若 葦

校歌の歌詞にある「葦」は諸富町内の水辺に生息しているイネ科の草です。哲学者パスカル(1623～1662)が「人間は、自然のうちに最も弱い一本の葦に過ぎない。しかしそれは考える葦である。」と思考する人間の偉大さを表した言葉を残しています。

■ 学校教育目標

夢をもち たくましく 挑戦する 生徒の育成 創り, つなぐ～ 夢 絆 伝統 ～

赴任のごあいさつ

今年度の定期異動により、諸富中学校長として赴任いたしました、下川 登志雄 と申します。前任は、佐賀市立小中一貫北山校に校長として2年間勤務をいたしました。

今年度より、伝統ある諸富中学校で勤務できますことを、大変うれしく思っております。

諸富中学校の子どもたちのために、全力で頑張ります。保護者や地域の皆様方、どうぞよろしくお願いいたします。

ご不明な点などございましたら、遠慮なくお尋ねください。

令和7年度 人事異動

この度の人事異動で下記の職員が転入しました。これからいろいろ、お世話になります。前任者同様によりしくお願いいたします。

職名	氏 名	前任校	教科	職名	氏名	前任校	教科

配布いたしました紙面で、ご確認ください。

よろしく
願
い
し
ま
す。

令和7年度 学校経営方針 学校教育目標

昨年度より、諸富中学校区3校(諸中、諸北小、諸南小)が地域運営学校(コミュニティースクール)であることを踏まえて、昨年同様に令和7年度の学校経営方針・学校教育目標を設定しました。

キーワードは「夢」「たくましさ」「挑戦」「絆」「伝統」となっております。

学習指導要領には、これからの未来は、将来の変化を予測することが困難な時代になると書かれています。更に、子どもたちには現在と未来に向けて、自らの人生をどのように拓(ひら)いて行くのか、自らの生涯を生きぬく力をどのように培っていくかが問われています。諸富中の子どもたちには、目の前にどのような困難な壁が立ちはだかつて、常に、「夢」をもち、「たくましく(少々のことではくじけない事)」「挑戦」を続けることができる生徒に育ってほしいと願っています。

また、郷土や母校の「伝統」に自覚と誇りをもち、地域の方々や友達と、助け合い、支え合い「絆」を深めながら困難に立ち向かってほしいと願っています。

夢をもち たくましく 挑戦する 生徒の育成
創り，つなぐ ～ 夢 絆 伝統 ～

学校経営方針

- (1) コミュニティースクールの取組を通して、保護者や地域の方々等との連携および相互理解と信頼による「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- (2) 生徒の自主創造性、協働性の確立を目指し、生きる力を育む教育を推進する。
- (3) 全職員が「チーム諸富」の一員として、積極的に学校運営に参画できる体制を確立する。

めざす子ども像

- (1) 夢(目標)をもてる子ども
- (2) 豊かでたくましい心身をもつ子ども
- (3) 何事にも積極的に挑戦する子ども
- (4) 助け合い、支え合いながら絆をつなぐ子ども
- (5) 郷土や母校の伝統に自覚と誇りをもてる子ども

めざす教師像

- (1) 子どもに寄り添い、ともに成長する教師
- (2) 地域を愛し、地域に学び、地域とともに歩む教師
- (3) 目標をもち情熱にあふれ、責任を持って行動する教師
- (4) チームの一員として行動し、支え、研鑽し合う教師

めざす学校像

- (1) 学校・家庭・地域が連携・協働するコミュニティースクール
- (2) 児童生徒一人一人のニーズに対応し、目標を誰かに育む学校
- (3) 学びを人生や社会に生かす力をつける学校

■ スマホ等で右のQRコードを読みとっていただくか、下記のアドレスを入力していただくと諸富中学校 HP をご覧になることができます。

■ <https://www.education.saga.jp/hp/morodomi-j/>

